

# 図書館通信

2026年6月 富谷中学校

其の参



## おすすめ図書



『こども哲学』

佐藤邦政監修



『こども心理学』

小塩真司監修



『こども経済学』

池上彰監修



「人の行為の良し悪しには運が大きく関わる。」「何度も見ているとだんだんだん好きになる。」「一度に覚えられるのは7つまで。」「同じことを続けていると楽しさはちょっとずつ減る。」「自分が得意なことに集中したほうがうまくいく。」…そんな事が書いてあります。講談社編

6月は梅雨の季節…。梅雨は“つゆ”または“ばいう”と読みます。“bai-u”（バイウ）は、国際的に通じる気象用語だそうです。（出典:ポプラディア）そんな“bai-u”で外に出られない日には、中で本でも眺めてみましょう～。少しは心が晴れるかも…、そして心の中の世界が広がるかも…。



新着図書もたくさん入りました。また、3年生の茶道教室に向けて、茶道の本も用意してあります。昼休み、おしゃべりだけでなく、本も読んで下さいね。図書室へどうぞ。



## 新着図書案内

### 漢字一文字：どこの国？

この表、図書室で見た事ありますか？

英	仏	独	伊
米	伯	豪	印
露	星	以	宇
埃	瑞	比	加
馬	新	墨	孟

国の名前を漢字一文字で表したものです。どこの国がわかりますか。答えはこの漢字をめくると出てきます。

という事は…、図書室に来て、めくってみないと答えはわかりません…。



社会？国語？受験勉強？…になるかもしれません…。ぜひめくって！



『被告人、AI』 中山七里著

最新 AI を搭載した介護ロボットが、利用者を殺害した罪で起訴された。裁判を担当することになった東京地検の判事補・高遠寺円は、被告人との面談に臨むが…。

タイトルが気になり、“AI”に関する本が図書室にどのくらいあるのか、ざっと調べてみました。タイトルに

AI と入っている図書が 12 冊、タイトルになくても中に AI の記載がある図書も 13 冊。結構ある…。AI とは何か、AI と人間の違い、AI によって受ける影響（特に職業）…などが書かれています。全てここ数年の新しい図書です。

近年の AI の発達発展は、私達の今までの考え方を日々更新させなければ、ついていけない感じがします。そんな中、この本は AI 搭載のロボットが被告人。そのやり取りの描写は、近い将来、実際に起こる事かもしれません。AI を便利さだけで安易に頼って使っていると、人間自身がしっぺ返しをくらうような気がします。そうならない為にも、AI についてきちんと知っておく事が大切だと思います。AI 関連の本たくさんあるので読んでみて下さい。この本もかなり面白い…。

